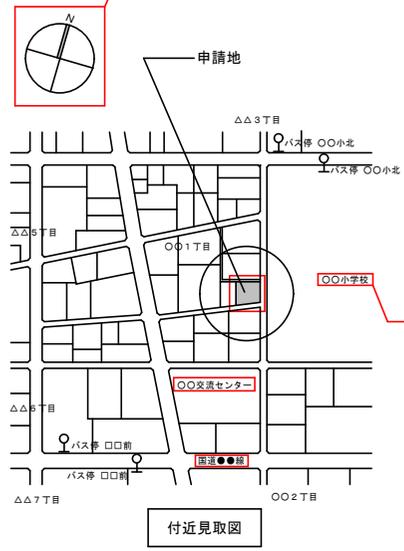
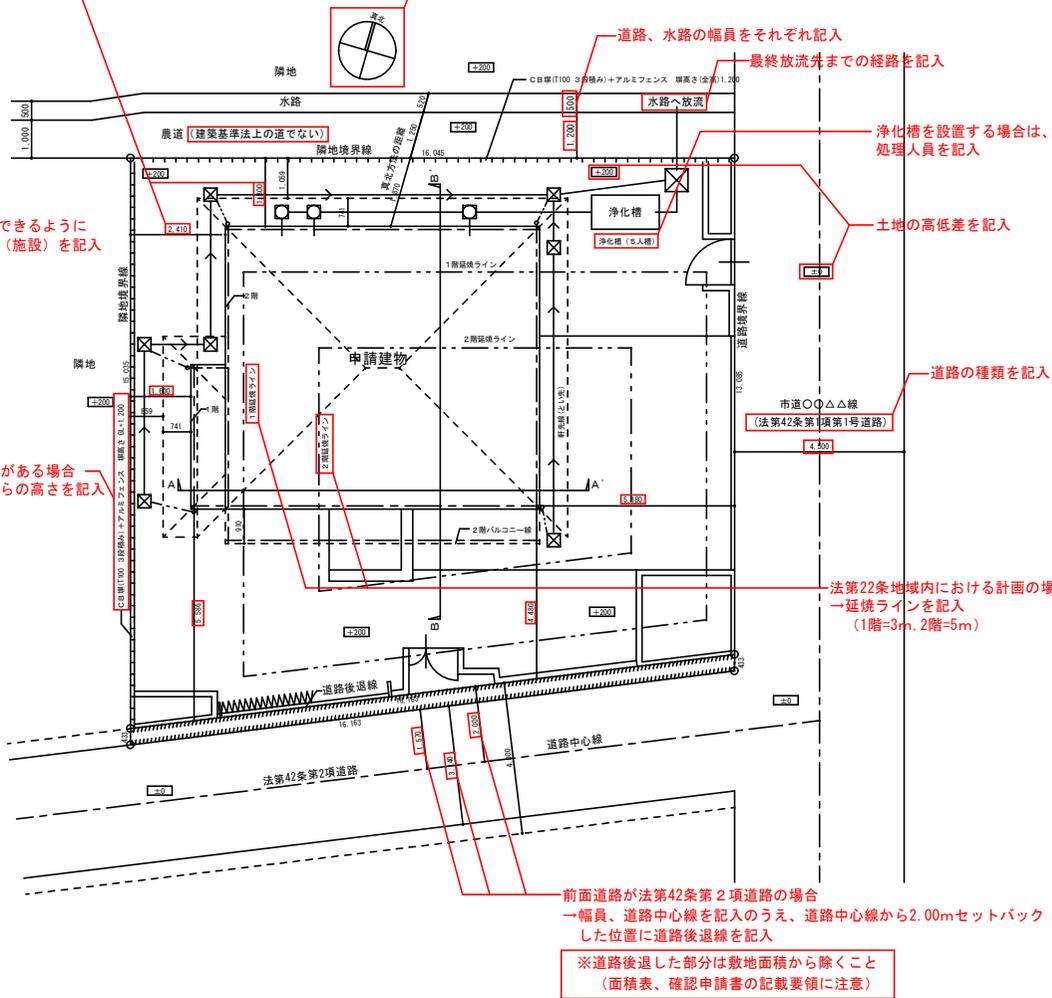


方位を書き忘れないように



建物の位置が特定できるように寸法を記入すること

方位を書き忘れないように
※北側斜線の検討を要する場合は、真北方向及び測定方法を記入
(例) 真北測定器による、測定時間：平成23年〇月〇日 12時〇〇分

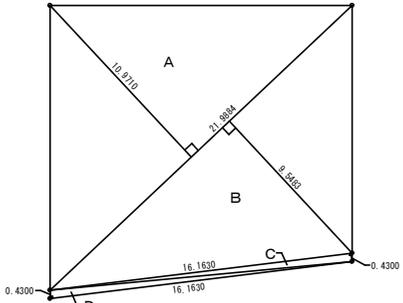


申請位置が特定できるように目標となる地物(施設)を記入

敷地周囲に擁壁・塀等がある場合→位置、種類、地盤からの高さを記入

法第22条地域内における計画の場合→延焼ラインを記入
(1階=3m, 2階=5m)

前面道路が法第42条第2項道路の場合→幅員、道路中心線を記入のうえ、道路中心線から2.00mセットバックした位置に道路後退線を記入
※道路後退した部分は敷地面積から除くこと
(面積表、確認申請書の記載要領に注意)



	底辺	高さ	倍面積
A	21.9884	10.9710	241.243
B	21.9884	9.5483	209.952
C	16.1630	0.4300	6.950
D	16.1630	0.4300	6.950
倍面積合計		合計面積	地積
A + B = 451.195		225.598	225.60
C + D = 13.900		6.950	6.95
敷地面積 =		225.60 m ²	

道路後退部分の面積

道路後退部分の面積は、敷地面積に含めない

敷地求積図 S= 1:200

※CAD等を用いる場合にあっては三斜求積図によらないことができます。その場合は作図にあたり使用したCAD等の種類を明示してください。

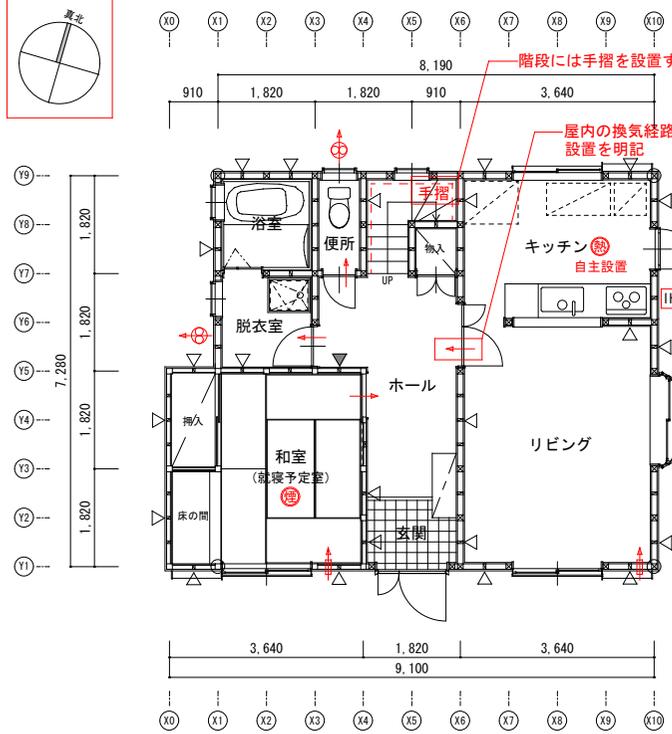
設計者押印を忘れないように

根拠条項	項目	チェック
付近見取図		
共通	方位、目標となる地物	
	道路、道、水路、空地、公園等 がけ等の地形の位置	
第3章	申請敷地の位置 隣地の建築物の位置、主要用途	
配置図		
共通	縮尺、方位、図面名称 敷地境界線、道路境界線 敷地内の建築物の位置、高さ 申請建築物とその他の別	
	断面図の切断位置	
法19条他	土地の高低差	
法23条	擁壁、がけ地の位置 敷地の安全上の措置	
法23条	延焼のおそれのある部分 (延焼ライン)	
法31条	浄化槽の位置、放流先	
法43条他	前面道路の位置、種別 前面道路の幅員	
	法42条2項道路の後退線位置、 後退距離	
	接道長さ(条例の規定に注意) 法43条第1項ただし書許可の内容	
法48条他	用途地域等の地域境界の位置 隣接地建物の主要用途	
法52条	指定容積率の異なる地域の 境界の位置	
法54条	外壁線、外壁後退ライン	
法56条1項	前面道路の中心線、中心高さ	
1号 (道路斜線)	法43条第1項ただし書の道路の 中心線、中心の高さ	
	セットバックの適用距離	
2号 (隣地斜線)	隣地境界線からの距離	
	建築物の各部分の地盤面からの 高さ	
3号 (北側斜線)	真北方向、真北測定方法 北側斜線確認用断面切断位置、 水平距離	
凡例	汚水枡 <input type="checkbox"/> 雨水枡 <input checked="" type="checkbox"/>	

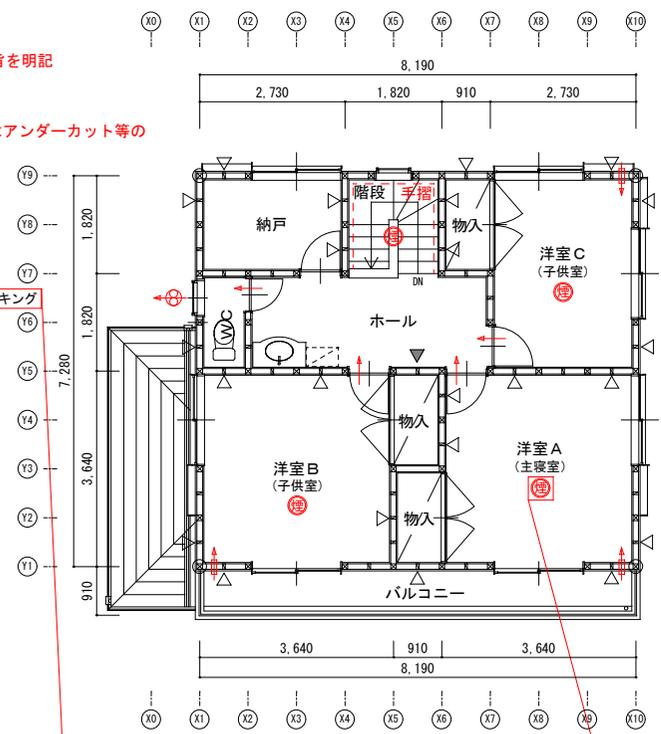
一級建築士事務所 ○○一級建築設計事務所
一級建築士事務所香川県知事登録第○○○○号
一級建築士国土交通大臣登録第○○○○○○号
香川 太郎



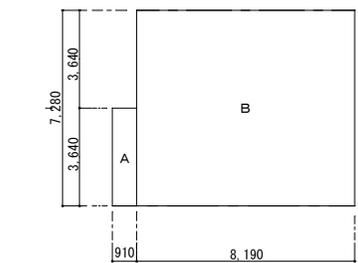
二筆名称 ○○ 邸 新築工事
設計者氏名 付近見取図・配置図・敷地求積図
縮尺 1:100, 1:200
図面番号 ○○/○○



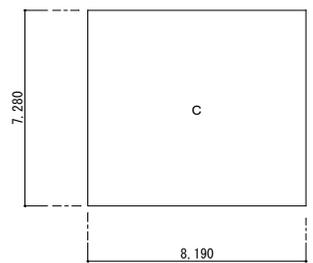
1階平面図 S= 1:100



2階平面図 S= 1:100



1階床面積 求積図



2階床面積 求積図

	縦	横	面積
A	3.64	0.91	3.3124
B	7.28	8.19	59.6232
C	7.28	8.19	59.6232
1階 床面積	A + B = 62.9356		62.94㎡
2階 床面積	C = 59.6232		59.62㎡
延床面積			122.56㎡

設計者押印を忘れないこと

根拠条文	項目	チェック
共通	縮尺、方位、図面名称	
	間取り、壁・出入口・建具等の配置	
法23条	延焼のおそれのある部分	
	延焼部分にある建具	
法28条の2	(シックハウス) 各室の用途	
	各室の床面積	
	給排気機、給排気口の別、位置	
	換気経路、建具の通気性の有無	
法35条	スイッチ位置、24時間換気	
法35条の2	無窓居室の位置、(有効)開口面積	
法35条の3		
令23条	階段の位置、構造、寸法 (けあげ、踏面、有効幅)	
令24条	踊場の位置、寸法	
令25条	手すりの位置、出幅、構造	
消防法9条の2	住宅用防災機器の位置、種類	

- ⊗ 通し柱
- △ 筋かい:片方向筋かい 45*90
- ▲ 筋かい:たすき掛け筋かい 45*90
- 防 防火設備
- ↻ 換気扇 (令20条の8による換気設備)
- ⇄ 給気口 100φ
- ⇄ 給気口 150φ
- ← 建具アンダーカット等
- ☑ レンジフード
- ⊗ 住宅用防災機器 (熱感知)
- ⊗ 住宅用防災機器 (煙感知)

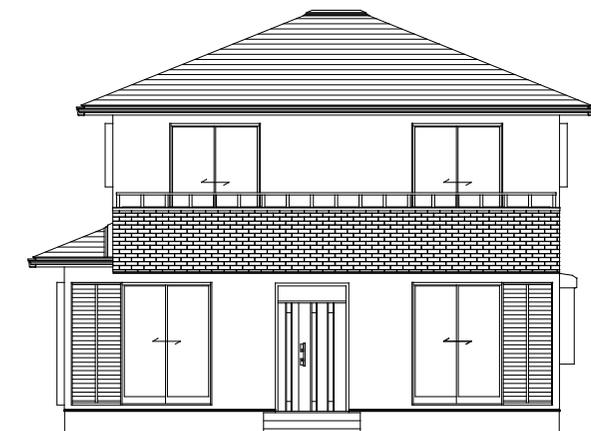
凡例を工夫して活用

寝室(予定室を含む)、階段上部には防災機器の設置が必要。寝室かどうかを特定できるように、用途を記入。

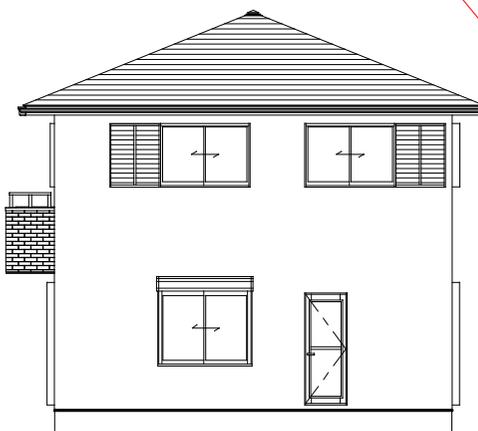
階段寸法

	計画値	基準値
けあげ	195mm	≥ 230mm
踏面	210mm	≥ 150mm
有効幅	800mm	≥ 750mm

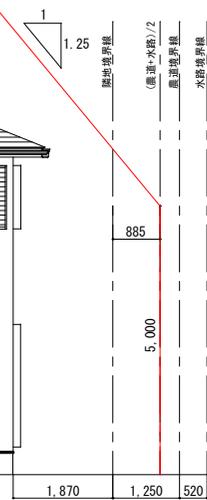
階段寸法を記入



南側立面図 S= 1:100



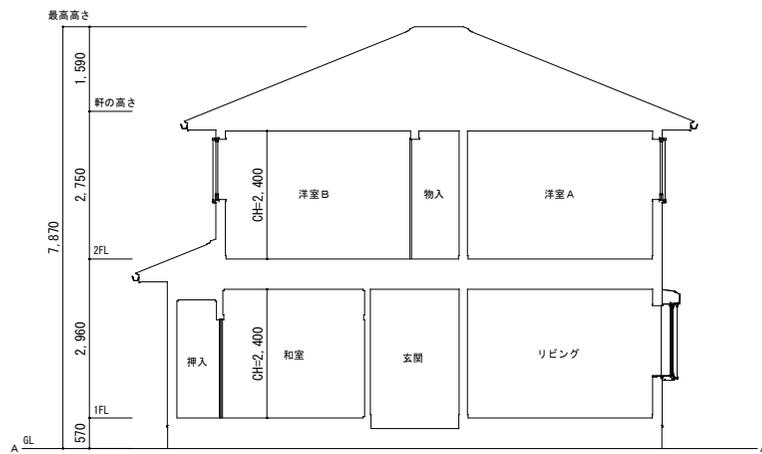
東側立面図 S= 1:100



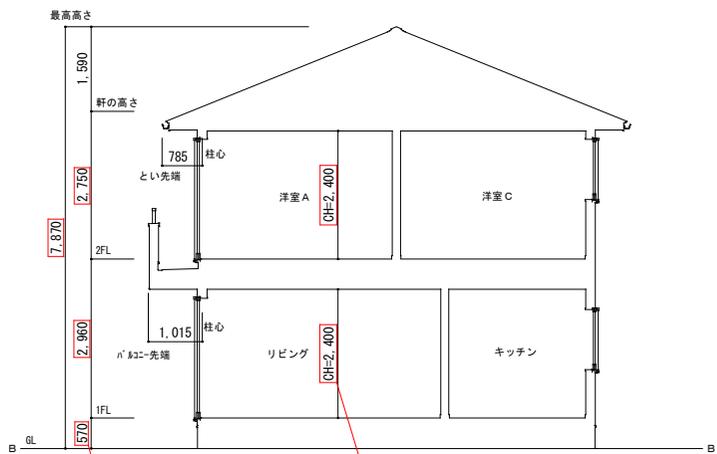
根拠条文	項目	チェック
共通	縮尺、方位、図面名称	
	出入口・建具等の配置	
法23条	延焼のおそれのある部分	
	延焼部分の外壁（耐力壁・非耐力壁の別） 延焼部分にある建具の別及び構造	
法56条1項 1号 (道路斜線)	前面道路の位置、幅員、中心線、 中心の高さ	
	法43条1項ただし書の道路の位置、 幅員、中心線、中心の高さ セットバックの適用距離 道路斜線ライン	
2号 (隣地斜線)	隣地境界線からの距離 隣地斜線ライン	
3号 (北側斜線)	北側斜線ライン	
	建築物の各部分の地盤面からの高さ	

※余裕がない場合は、斜線制限を図示により確認すること

方位が正しいか確認すること



A-A断面図 S= 1:100



B-B断面図 S= 1:100

確認申請書に記載する寸法と整合しているか確認すること

配置図に記載の切断位置と整合しているか確認すること

設計者押印を忘れないこと

一級建築士事務所 ○○一級建築設計事務所 <small>一級建築士事務所香川県知事登録第○○○○号 一級建築士国土交通大臣登録第○○○○号 香川 太郎</small>	〇〇 邸 新築工事
立面図・断面図	1:100
〇〇/〇〇	